

2013年12月20日
東京海上日動あんしん生命保険株式会社

あんしん生命 CSR 活動についてのご報告

東京海上日動あんしん生命保険株式会社(社長 きたざわ としふみ 北沢 利文)は、CSR(企業の社会的責任)は「経営理念の実践」そのものであると捉え、社会的責任を自覚し永続的な企業価値の向上を目指しています。特に当社では10月をCSR強化月間と定め、地域・社会への貢献活動の一環として、様々なボランティア活動に積極的に取り組んでいますので、代表的な活動についてご報告いたします。

1. タオル帽子製作活動

「タオル帽子」の製作は、盛岡市の市民団体「岩手ホスピスの会」が、「がん患者さんやそのご家族を支援したい」、「闘病中の患者さんを勇気づけたい」という思いから製作活動に取り組み、全国のがん診療連携拠点病院等に寄贈されています。

当社はこの活動の趣旨に賛同し、2007年9月から取り組んでいる「お客様をがんからお守りする運動」の一環として、「タオル帽子」の製作に協力し、2009年度の取り組み開始以降、毎年1,000個以上を寄贈しています。

今年度も4月の新入社員全員によるタオル帽子製作会に始まり、8月から11月までをクリスマスプレゼント用のタオル帽子製作期間と定めて全国各地で製作会を実施する等、当社を含む東京海上グループの社員とその家族、代理店等が一針一針思いを込めて製作いたしました。その結果、1,110個のタオル帽子が集まり、製作用のタオル1,000枚と併せて、2013年11月30日(土)に「岩手ホスピスの会」へ寄贈いたしました。



<「岩手ホスピスの会」に寄贈したタオル帽子>



<タオル帽子寄贈の様子(右:当社人事総務部長 石井)>

2. ピンクリボン運動の支援

当社は NPO 法人 J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）を通じて、2005 年よりピンクリボン運動（乳がんの早期発見の大切さをお伝えする運動）を支援しています。今年度も 10 月を中心に全国 100 カ所以上で街頭キャンペーンを実施し、乳がん検査の重要性をお伝えするリーフレット 150,000 部をお配りするとともに、ジャパン・マンモグラフィーサンデー（J.M.S）※に関する啓発活動を行いました。

丸の内（本社）エリアでは、東京駅前とその周辺において、過去最多の総勢 238 名の当社社員が、10/2（水）、10/16（水）、10/23（水）の 3 日間に亘り通行人に乳がん啓発リーフレットを配布いたしました。

※NPO 法人 J.POSH と全国の医療機関が協力し、10 月第 3 日曜日に全国の賛同医療機関でマンモグラフィー検診を受診できる環境作りを行っています。



<街頭キャンペーンの様子>

<街頭キャンペーンの様子(右:当社取締役社長 北沢)>

3. その他当社社員が参加しているボランティア活動

全国の各地域で、当社社員が自主的に様々な活動に参加しています。

- ・認知症サポーター養成講座への参加（東京都）
- ・「介護付高齢者住宅」での体験ボランティア（神奈川県）
- ・総合福祉センター弘済学園チャリティーバザーの運営協力（神奈川県）
- ・あしなが P ウォーク 10 への参加（全国各地）
- ・小学生向け「みどりの授業」・「ぼうさい授業」への参加（東京都）
- ・献血活動（全国各地）
- ・地域の清掃活動（全国各地）

今後も地域・社会の皆様のお役に立てるよう、積極的に CSR 活動に取り組んでまいります。

以 上